

# ほんまもん王国 王様推奨 南紀エリア おすすめツアーで行く 熊野詣と湯巡りの“ええトコどり”プラン

王様推奨 南紀エリアお勧めツアーTOP

見どころ&学びのポイント

スケジュール <旅行金額の目安 約18,000円(航空運賃、宿泊代含みません)>  
公共交通機関(バス・電車・飛行機)の時刻は事前に必ずご確認ください。

## (プランの紹介)

1日目	
09:05	東京(羽田空港)発 JAL1381便
10:15	南紀白浜空港着 移動 10:36発 (明光熊野古道特急バス新宮行き)
11:13	～ 11:50 滝尻着 熊野古道館見学と滝尻王子で熊野古道にふれる。 移動 11:57発 (龍神バス 発心門王子行き)
12:14	～ 13:20 牛馬童子口着 道の駅から近露までウォーク。(約50分) 近露にて昼食(弁当、語り部付き) *熊野古道ウォークレポート【4】 移動13:27発(龍神バス 道の駅奥熊野本宮行き)。
14:05	【熊野本宮温泉郷宿泊:川湯・湯峰・渡瀬の3箇所から選択してください。】 移動 各温泉郷にて、ゆっくり温泉をお楽しみください。

1日目:世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の中辺路街道は「蟻の熊野詣」といわれる程、たくさんの方々が町を往来していったと伝えられています。温泉で初めて世界遺産登録された「つぼ湯」、熊野信仰の聖地とされた熊野本宮大社のある「本宮エリア」も含まれています。歴史と自然あふれる地へ訪ねてみよう。

2日目:熊野詣での終着点、熊野本宮大社を目指して出発。参拝した後は、少し熊野古道から離れて龍神村エリアへ。素朴な村でのひとときを楽しんだ後は清流日高川を見ながら四季折々の自然と、日本三美人の湯「龍神温泉」を堪能して下さい。

3日目:田辺市で旅の締めくくり。博物学者の南方熊楠ゆかりの地です。オープンしたばかりの「南方熊楠顕彰館・南方熊楠旧居」を見学して帰路へ。

2日目	
07:50	宿発 移動7:57発(龍神バス 発心門王子行き)。
08:13	～ 9:10 熊野本宮大社着 参拝、足湯、大斎原散策。 移動9:20発(龍神バス 紀南病院行き)
11:21	～ 13:10 紀伊田辺駅着 昼食。 移動13:15発(龍神バス上秋津・奇絶峡・秋津川・龍神温泉・高野山行き)
14:34	～ 17:30 季楽里着 季楽里龍神館内でアーティストの作品見学。 龍神温泉まで散策(皆瀬神社参拝 温泉寺見学)
17:30	龍神温泉宿泊

3日目	
09:40	宿発 移動9:45発(龍神バス 紀南病院紀伊田辺行き)
10:59	紀伊田辺駅着 レンタサイクル(駅リンくん(紀伊田辺駅)料金500円)
11:10	南方熊楠顕彰館・南方熊楠旧居 田辺市湊(昼食) 蟻通神社 闘鶏神社 田辺特産品巡り(かまぼこ通り)(～ 17:30) * 田辺街中めぐりコース レンタサイクルで移動
18:00	紀伊田辺駅着 明光バス(18:15発)で南紀白浜空港へ 移動
18:52	南紀白浜空港発 JAL1386便(季節により運行時間・便等が変わります)
20:35	東京(羽田空港)着 ご自宅へ



### 熊野古道 滝尻、牛馬童子～近露

熊野古道館(資料館)は町内の12の王子社にちなんだ12角形の建物が目印。古道の情報拠点で、滝尻王子の向かいにあります。熊野懐紙や滝尻王子社の所蔵品など、古道に関する資料や中辺路の観光情報が満載です。平安貴族の藤原宗忠が、「はじめて(熊野権現の)御山の内に入る」と記した滝尻王子にはじまるこのコースからいよいよ熊野三山の神域に入ります。熊野古道中辺路ルートシンボリック的存在である牛馬童子～近露間は杉木立が印象的なコースです。

#### 問い合わせ先

熊野古道館・語り部漂探古道 TEL 0739-64-1470



### 本宮温泉郷 渡瀬・湯の峰・川湯

1泊目の渡瀬温泉は四村川のほとりの渡瀬の里にあります。市営のクアハウスには8種類もの入浴タイプがあり、大露天風呂も楽しめます。湯の峰温泉は開湯1800年の日本最古の湯で、世界遺産登録された世界初の「つぼ湯」があり、熊野詣の湯垢離場(ゆごりば)でもありました。小栗判官と照手姫のドラマチックな物語も残っています。川湯温泉は大塔川の川原を掘ると湯が沸き出す珍しい温泉で毎年11月～2月まで川をせき止め、巨大な仙人風呂が出現します。

**チェックしよう**▶ 熊野本宮観光協会 TEL 0735-42-0735



### 熊野本宮大社 大斎原

2泊目に参拝する熊野本宮大社は、古くは「熊野坐(くまのにます)神社」という名で呼ばれていました。熊野三山の中心で、全国に3000社以上ある熊野神社の総本宮です。「八咫鳥」は熊野権現の使いの三本足の鳥。向かって左に、第一殿・第二殿の相殿。相殿のため、第三殿や第四殿よりひと回り大きく、また、この相殿の正面に礼殿があるため、相殿が本社のように見えるかもしれませんが、中央の第三殿が主神を祀っています。第一殿を「西御前(にしのごぜん)」といい、熊野牟須美神(くまのむすみのかみ)と事解之男神(ことさかのおのかみ)を祀っています。第二殿を「中御前(なかのごぜん)」といい、御子速玉之神(みこはやたまのかみ)と伊弉諾尊(いざなぎのみこと)を祀っています。家都美御子神・牟須美神・速玉之神の3神を本宮・新宮・那智の熊野三山は共通に祀っていますが、それぞれの主神は異なります。熊野牟須美神は那智の主神で、御子速玉之神は速玉の主神です。

**チェックしよう**▶ 熊野本宮観光協会 TEL 0735-42-0735



### 龍神温泉

役の行者小角(えんのぎょうじゃおづぬ)により発見され、後に弘法大師が難蛇龍王のお告げによって開湯したと伝えられています。1300年余りの歴史があり、徳川時代の紀州の藩主、徳川頼宣により、別荘温泉地として栄えた伝統と由緒ある名湯となりました。いつの頃からか、群馬県吾妻町の川中温泉・島根県斐川町の湯の川温泉と並び日本三美人の湯の一つとして数えられており、泉質はナトリウム炭酸水素塩泉(純重曹泉)でラジウムの放射量が多く、肌を美しくする効果があります。

**チェックしよう**▶ (社)龍神観光協会 (0739)78-2222

